

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-526536(P2004-526536A)

【公表日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-034

【出願番号】特願2002-586835(P2002-586835)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 C 7/20

【F I】

A 6 1 C 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月29日(2005.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯列矯正装置のアーチワイヤスロットからアーチワイヤを解放する方法であって、手持ち器具の少なくとも1つの脚を、前記アーチワイヤの歯に面する側に沿って配置することと、

前記歯列矯正装置のラッチに向う方向に前記アーチワイヤを付勢するように、前記手持ち器具を枢動操作することと、

前記ラッチを開いて前記アーチワイヤスロットから前記アーチワイヤを解放するのに十分な力で、該アーチワイヤを該ラッチに対して押し付けることと、
を含み、

前記手持ち器具を枢動操作することが、該手持ち器具が枢動する間に該手持ち器具の一部を前記歯列矯正装置に当接させることを含む、
方法。

【請求項2】

ラッチを有する歯列矯正装置のアーチワイヤスロットからアーチワイヤを解放するための、歯列矯正用の手持ち器具であって、

細長いシャフトと、

前記シャフトに接続され、各々が前記アーチワイヤに係合するフック形状を有し、互いに間隔を空けて配置される2つの脚と、

前記2つの脚の間に配置され、前記アーチワイヤを前記歯列矯正装置の前記ラッチに対して押し付けるように前記シャフトが揺動する間に、該歯列矯正装置に接触するカム部分と、

を具備する歯列矯正用の手持ち器具。